

平成31年度 特色ある学校づくり支援事業 実施報告

1 事業名（テーマ）

「わかる・できる」を実感できる授業づくり・居場所づくり

2 目的

本校は児童数が多く、個別の支援が必要な児童も多い。また、その支援内容も多岐にわたる。それらを改善するために以下の2点を目的として本事業を行う。

- (1) 外部人材の効果的利用
- (2) 「不登校対策として学習支援教室の環境整備」

3 計画及び内容

- (1) 外部人材の効果的利用
- (2) 不登校対策として学習支援教室の環境整備

4 実際の様子と成果や課題

(1) 外部人材の効果的利用

① 音楽科

4年音楽科（合唱指導）では、ソプラノ歌手の石川公美氏を招聘し、指導を受けた。石川氏の指導を受けて、児童は歌う楽しさを実感できた。また、学年団の教員も歌唱指導のポイントを学ぶことができ、授業力向上にも役立った。3月には、卒業を控えた6年生にも指導を予定している。

日	内 容
10月29日(火)	4年音楽科 合唱指導（講師 石川公美氏）
10月30日(水)	6年国語科 宮沢賢治朗読会（細川律子氏）
12月9日（月）	6年総合的な学習の時間 キャリア教育授業の講義・演習 （船橋市立高根東小学校校長 渡邊尚久氏）
3月12日（木） ②（予定）	6年音楽科 合唱指導（講師 石川公美氏）

国語科



6年国語科（宮沢賢治の朗読会）では、宮沢賢治の作品を故郷の岩手弁方言を交えて、細川律子氏に朗読して頂いた。児童は作品に込められたメッセージを実感できたようだ。

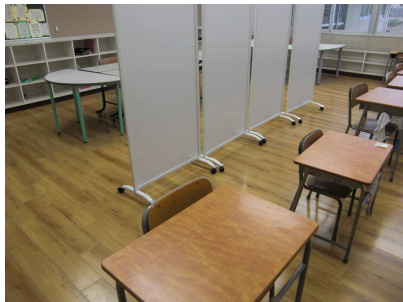
③キャリア教育

6年の総合的な学習時間では、船橋市立高根東小学校校長の渡邊尚久氏に來校頂き、「巣立ちに向かって」単元の導入にあたる講義演習を行って頂いた。夢や目標を持ってそのために努力することの大切さと「できない」という思い込みが夢の実現をさまたげていることを語っていただいた。

6年生は、この講義を受けた後、自分の夢を表現する「宝地図」を作り、2月の授業参観で一人ひとり発表した。夢を視覚化し語ることで、未来を楽しみに思い、そのために努力しようという思いを持つことができた。また、渡邊氏の児童を引き付ける話術もとても参考になり、教員の指導力向上にもつながった。



(2) 不登校対策として学習支援教室の環境整備 学習支援室に、移動式の間仕切りを設置。



教室を2つに分けて学習スペースと活動スペースに分けているが、時には、一人ひとりの机を仕切り、個別の空間を作ることによって落ち着く環境づくりもできた。

iPADでの学習では抵抗感が少なく、児童が自分のペースで、自分が苦手としているところから学習することができる。また、書くことや読むことに抵抗がある児童も、画面操作や読上げ機能を利用して学習できた。

今後はさらに、アプリを増やし、より学習効果が上がるよう検証していきたい。

